

第4回「地域活性化交流・観光」及び「まちづくりハウジング」専門部会

日時：平成31年3月28日（木）15：00～

場所：西成区安心安全活動拠点「あいステーション」

出席者：

<有識者> 水内教授（大阪市立大学）、松村教授（阪南大学）、寺川准教授（近畿大学）

<オブザーバー> ありむら事務局長（釜ヶ崎のまち再生フォーラム）

<地域> 村井委員（区商連会長）、杉浦委員（簡宿組合事務局長）、上田委員（ココルーム代表）
川村委員（萩之茶屋 第2町会長）

<大阪市> 西成区 : 安井総合企画担当課長、川上地域支援担当課長

経済戦略局：梅原観光施策担当課長

都市計画局：樽野地域開発担当課長

議事要旨

「地域密着型エリアリノベーションビジネス促進事業」について

- ・ まちあるきボランティアの育成など、実績の積み重ねができるものを期待する。
- ・ 事業成果を測るためにも、現時点の通行量など、基礎データを収集しておいて、比較できるようにしておいたほうがよいのでは。
- ・ 新しくまちに入ってくる事業者が増えてくるので、これからの発展のためには、地域でも会費やごみの出し方などのルールを整備する必要があると思う。

リノベーションについて

- ・ 古い建物が多く、耐震性を確認できていないなど、この地域の特性を理解した制度設計をする必要がある。
- ・ 夜間に酒を飲む店舗が増えると、トラブルを誘発してイメージが悪くなるのが危惧されるので、昼間の賑わいにつながるものを誘導してはどうか。
- ・ 事例をデータベース化していくなど出来ると、次に入りたい事業者もそれを見て事業計画をつくるなど、次につながるのではないかと。